



保育園・幼稚園・認定こども園用「こども KYT+SDGs の超きほん」の提供を開始 ～子どものあんぜんと SDGs の取り組みを具現化～

2022年4月22日

MS & ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納啓介）は、保育現場へ安全・安心を提供するため、リスクマネジメントツール「保育園・幼稚園・認定こども園用『こども KYT+SDGs の超きほん』」を4月から提供します。

※ 危険予知訓練の略。事故の未然防止というカテゴリーにおいて、危険に関する「気づきの感性」を高め事故を防止していくといった面で効果的であると言われています。

1. 背景

保育園等の就学前施設に存在する危険・事故は、事業者が主体的に回避することが求められていますが、危険・事故は様々な要因が重なり発生するものであり、それら全てを保育事業者や保育者のみで回避することは困難だと言われています。しかしながら、現状の事故防止活動は施設の環境整備や保育者への指導等が重視されている傾向にあります。そのため、就学前施設に存在する危険・事故を無くすためには、怪我を負う“子ども自身の危険回避力の育成”も重要になってきます。

また、世界的にSDGsへの取り組みが進む中、保育事業者においては、取り組みの必要性は感じているものの、具体的な手段が分からず、取り組みが十分に進んでいない現状があります。

こうした背景を踏まえ、当社は、子どもの“危険に関する感受性”を高めると同時に、SDGs教育も行うことが出来る「こども KYT+SDGs の超きほん」を提供することとしました。

2. 保育園・幼稚園・認定こども園用「こども KYT+SDGs の超きほん」の概要と特長

(1) 概要

イラストを使った子どもたちとのディスカッションを通じて、危険につながる行動とは何か、安全な行動とは何かについて自由な発想を引き出し、子どもたち自身が「どうしたら安全に生活できるか」について考えることを促します。また、イラストにはSDGsで掲げる目標をテーマとしたコンテンツも挿入しており、幼少期から環境問題や社会問題に触れ、興味を持ってもらうことができます。

(2) 特長

- ① 保育現場で実施する「手洗い」や「工作」など、15の場面をイラストにしています
- ② 年次が高くなる毎に、経験と照らし合わせながら学びを深めていくことができます
- ③ SDGsで掲げる17個の目標のうち、子どもにもわかりやすい目標を中心に構成し理解促進を図ります
- ④ こども KYT に取り組むことで、就学前施設におけるSDGsの具体的な活動につながります



3. 今後の展開

保育現場の子どもの安全と SDGs の達成といった 2 つの課題に対応すべく、全国の保育事業者に対し、「こども KYT+SDGs の超きほん」の導入提案を行います。

当社の目指す姿である「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ため、以下のコンセプトを基に、社会・地域課題の解決に取り組み、事故の未然防止・損害の極小化・SDGs の達成に貢献します。

(1) 共有価値の創造 (Creating Shared Value)

安全・安心面を支援することで保育事業者や保育者の安全スキルを向上し、子ども・保護者が安心して過ごせる環境を提供することで社会・地域の課題解決を目指します。

(2) まだ誰も知らない安心を、ともに。

保育事業者や保育者の安全力向上といった従来の手法に加え、子ども自身の危険回避力を育むといった今までにない事故防止手法を取り入れることで、より一層安全な環境を提供していきます。

(3) SDGs 思考を育む

事故防止ツールである「こども KYT」に SDGs の要素を取り入れることにより、明るい未来を創る子どもたちに SDGs に触れる機会を創出し、SDGs 思考を育みます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs (持続可能な開発目標) を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

